

今月号からこのコーナーでは最上町の紹介したい人をお知らせします！

最上町の let's Challenge !

Vol.1

最上町で華道を楽しむ高校生

幼いころから華道一筋

さいとう
齊藤 由翔 さん
なおと

16歳(高2)

法田下地区

平成18年生まれ。新庄神室産業高校。趣味は盆栽。好きな言葉は「花は野にあるように」。



「生け花は奥が深く、とても繊細です」と語る、まだ高校2年生の齊藤由翔さん。3歳の頃から花が好きになり、住んでる地区では「花好き男子」で有名。華道との出会いは小学校1年生の時に「小原流生け花教室」の先生から、楽しい生け花を教わったことでした。中学生の時は、入学式や卒業式の玄関に飾る迎え花で腕前を披露したこともあり、今でも華道を楽しみながら極めていきます。そんな齊藤さんは現在、最上郵便局のカウンターにボランティアで花を生けています。飾り始めたきっかけは自分の華道に対する技術の自己研鑽。「花を生けているときは、本当に好きなことをやっているのだから無心になれる」そんな齊藤さんに郵便局員も心を打たれ、月3回カウンターの飾ってもらっています。郵便局に来店する方々の感想は「毎回、季節感を感じる

繊細な作品」と評判です。華道に対する今後の思いは、「地域の方々の家の庭に咲いている花を提供していただき、生け花で綺麗に飾りたい」。また、「将来は華道を通して学んだことを生かしてお花の先生や、植物に関わる仕事がしたい」と語ってくれました。まだ高校生の齊藤さんですが、華道家としての才能の開花が楽しみです。



このコーナーに出してみませんか？

今月号から「最上町のレッツチャレンジ」で町民を紹介していきます。出演いただける方を募集しています。近所の紹介したい方、夢に向かって頑張る子供、大人、スポーツ少年団など、どなたでも構いません。詳細は最上町役場総務企画課まちづくり推進室広報担当までご連絡ください。

【取材について】

※対象は小学校2年生以上でインタビューできる方

※取材後、掲載までは少々時間がかかりますのでご了承ください。

※掲載には必ず写真を撮影させていただきます。



齊藤さんの作品は、最上郵便局のカウンターに飾られています。